

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

2025(令和 7)年度 理事総会(第 1 回理事会)

2025(令和 7)年 4 月 18 日(金) 15:00～17:00

岩手県立不来方高等学校 学習室

次第

開会	
専門部長挨拶	
自己紹介	
議長選出	
協議	1 2024(令和 6)年度事業報告ならびに決算報告
	(1) 2024(令和 6)年度役員 2
	(2) 事業報告 3
	(3) 決算報告
	ア 一般会計 6
	イ 事業費会計 7
	2 2025(令和 7)年度役員(非改選期) 8
	3 2025(令和 7)年度事業計画ならびに予算
	(1) 事業計画 10
	(2) 予算
	ア 一般会計 16
	イ 事業費会計① NHK 杯県大会 17
	ウ 事業費会計② 新人大会 18
	エ 事業費会計③ 講習会 19
	4 NHK 杯県大会要項(6 月 2 日・3 日開催) 20
	5 アナウンス朗読講習会要項(6 月 21 日開催) 20
	6 放送講習会要項(9 月 14 日開催) 20
	7 その他 20
連絡	1 2026(令和 8)年度以降の予定 21
	2 放送専門部の連絡方法 22
	3 その他 23
閉会	
資料	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 24
	2024(令和 6)年度高文連紀要・大会結果 (省略)

<https://www2.iwate-ed.jp/housou/2025/bod20250418.pdf>

協議 1 2024(令和 6)年度事業報告ならびに決算報告

(1) 2024(令和 6)年度役員 (2024(令和 6)年度第 2 回理事会で理事校 24 校に変更, 報告事項)

専門部長	岩手県立金ヶ崎高等学校長	三森 健	
副専門部長	岩手県立不来方高等学校長	菊池 勝彦	
副専門部長	岩手県立盛岡工業高等学校長	瀬戸 和彦	
専門部代表理事	岩手県立不来方高等学校	岡田 伸一郎※	
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	森 公崇		2030～31 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	菊地 達哉	(上位大会担当※※)	2042～43 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋 篤志	(監事)	前事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	新沼 正史		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	久保井 秀樹		2034～35 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	福田 和楓		事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	平山 道郎		
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我 範晃		
岩手県立盛岡農業高等学校	鈴木 勇二	(盛岡支部理事, 前東北高校放送コンテスト事務局)	
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺 真由美	(監事)	次期事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	高橋 武		2028～29 年度事務局校
盛岡市立高等学校	山崎 治子		2032～33 年度事務局校
岩手中・高等学校	大沢田 真也		2038～39 年度事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	成田 奈穂		2040～41 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	畠山 隆行	(花巻支部理事)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋 知己	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	山平 清人	(奥州支部理事)	
岩手県立一関第一高等学校	小澤 茂登子	(一関支部理事)	
岩手県立一関工業高等学校	小幡 直子		
岩手県立大船渡高等学校	菊田 光哉	(気仙支部理事)	
		(釜石支部理事空席)	
岩手県立宮古高等学校	菊地 奈樹	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古商工高等学校	和山 真也		
岩手県立久慈高等学校	佐藤 美咲	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	佐藤 翔太	(二戸支部理事)	

(※ NHK 杯運営委員, 東北高文連放送部会理事)

(※※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北アナ朗事務局)

(2) 事業報告 (2024(令和6)年度第2回理事会で報告済)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	10	水	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	19	金	理事総会・第1回理事会	不来方高校	放送専門部
5	13	月	県高総文祭第1回実行委員会	サンセール盛岡	県高文連
5	17	金	県高総体開会式 (司会:盛岡第三)	タカヤアリーナ	県高体連 (協力事業)
6	3	月	第47回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼	県民会館	放送専門部・NHK
4	4	火	第71回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会		
6	22	土	第24回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	県民会館	東北高文連 主管事業
23	23	日	(9校・31名・19エントリー)		
7	6	土	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 (6校・19名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	12	金	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト	ウェブ上	全放連・NHK
14	14	日	番組部門準々決勝審査		
7	22	月	第71回NHK杯全国高校放送コンテスト	オリンピックセンター(準決勝まで)・NHKホール(決勝)	全放連・NHK
25	25	木	(7校・58名・24エントリー)		
8	1	木	高文連全国放送専門部理事会	バロー文化ホール (多治見市文化会館)	全国高文連
8	2	金	第48回全国高等学校総合文化祭(岐阜大会)放送部門	バロー文化ホール (多治見市文化会館)	全国高文連
3	3	土	(6校・24名・9エントリー)		
8	5	月	短歌甲子園 司会進行打合せ (3校・12名)	プラザおでって	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	16	金	第19回全国高校生短歌大会 司会	姫神ホール・アイーナ	盛岡支部協力事業 盛岡市
18	18	日	(盛岡第二・盛岡第一・盛岡白百合)		
9	6	金	第2回理事会	不来方高校	放送専門部
9	13	金	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	多賀城市文化センター	東北高文連
9	22	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (10校・58名、うち県外2校・4名)	県民会館	放送専門部
10	5	土	岩手芸術祭総合フェスティバル 朗読 (盛岡第一)	県民会館	県芸術文化協会 (協力事業)
10	11	金	第47回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (連盟賞代表盛岡第一)	二戸市 (福岡高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	土	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー (9校・80名)	県民会館	放送専門部
11	1	金	いわて教育の日のつどい 司会 (盛岡白百合)	県民会館	岩手県 (協力事業)
11	5	火	第47回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼	県民会館	放送専門部
6	6	水	第42回岩手県高等学校放送新人大会		
11	20	水	(12校・111名・90エントリー)	都南文化会館	岩手県 (協力事業)
11	23	土	第19回高校生交通安全テレビCMコンテスト		
24	24	日	(5校・13エントリー)	盛岡第二高校 県民会館	放送専門部
12	21	土	セミナーサポート事業④番組講習会 (8校・41名)	県民会館	放送専門部
12	26	木	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (10校・36名)	県民会館	放送専門部
27	27	金	校内放送指導者講座 (東京3名・リモート5名)	千代田放送会館 県民会館(リモート)	全放連・NHK
1	11	土	秋田県校内放送強化練習会 (県勢3校・13名)	大曲市民会館	秋田県高文連 放送部会
2	8	土	第28回東北高等学校放送コンテスト	多賀城市文化センター	東北高文連 宮城県主管
9	9	日	(10校・60名・36エントリー)		
2	14	金	第3回理事会・会計監査	不来方高校	放送専門部
3	22	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
3	22	土	番組講習会	盛岡第一高校 盛岡白百合学園高校	盛岡支部
23	23	日	(9校・40名)		
3	27	木	Nコンスキルアップ講座	オンライン	全放連・NHK
3	27	木	成田高校放送部主催合同春合宿	千葉県立小見川少年自然の家	成田高校
28	28	金	(1校・2名)		

ア 大会事業

県大会はいずれも第 46 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催。全結果は放送専門部のウェブサイトを参照。

① 第 71 回岩手県高校放送コンテスト 6 月 3 日(月)・4 日(火) 県民会館

② 第 42 回岩手県高等学校放送新人大会 11 月 5 日(火)・6 日(水) 県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(宮城大会, 2025 年 2 月)ならびに第 49 回全国高等学校総合文化祭放送部門(香川大会, 2025 年 7 月)の予選として実施。

・第 49 回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。

アナウンス部門…盛岡第一(2)大矢知宙, 盛岡白百合学園(2)中本真央・(2)安孫子陽菜
朗読部門…盛岡白百合学園(2)西島唯, 盛岡第二(1)川井由葵, 盛岡第一(1)藤堂ひかる
オーディオメッセージ部門…盛岡白百合学園
ビデオメッセージ部門…盛岡第一, 盛岡第三

③ 上位大会…県勢の全国大会入賞は次の 5。東北大会は入賞多数

・第 24 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 入賞 14

・第 71 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 入賞 4

朗読部門	盛岡白百合学園(2)	西島唯	入選
ラジオドキュメント部門	宮古	使命	入選
テレビドキュメント部門	盛岡第一	そこにお宝あつタカラ!	制作奨励
テレビドキュメント部門	宮古	私たちが繋ぐ記憶	制作奨励

・第 47 回全国高等学校総合文化祭放送部門 入賞 1

オーディオメッセージ部門	盛岡第一	伝え続けた, 108 時間	文部科学大臣賞
--------------	------	---------------	---------

・第 29 回東北高等学校放送コンテスト 入賞 7

アナウンス部門	盛岡白百合学園(2)	中本真央	入選
	盛岡第二(2)	高橋穂乃花	奨励賞
朗読部門	盛岡白百合学園(2)	西島唯	最優秀賞
	盛岡第二(1)	川井由葵	優秀賞
	盛岡第一(1)	藤堂ひかる	奨励賞
ラジオキャンペーン部門	盛岡第二	うたっこ娘	優良賞
	盛岡第一	AI に訊いてみる?	入選

イ 講習会事業…セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施。

① 放送専門部・盛岡支部主催

・アナウンス朗読講習会 7 月 6 日(土) NHK 盛岡放送局

・放送講習会 9 月 22 日(日) 県民会館 成田高校・和泉洋一先生と生徒を招聘

・メディアコミュニケーションセミナー 10 月 12 日(土) 県民会館

加藤久智・高橋典子(IBC 岩手放送)・中野圭(TVI)・河辺邦博(元 IBC)各氏による部門別の講習。

・番組講習会 11 月 23 日(土) 盛岡第二高校・24 日(日) 県民会館

中野圭氏(TVI)による東北大会出場校への指導。

- ・ **アナウンス朗読講習会** 12月21日(土) 県民会館
安田知博氏による東北大会出場者への指導。
- ・ **番組講習会** 3月22日(土)盛岡第一高校・23日(日)盛岡白百合学園高校、盛岡支部主催
井手広法氏による指導。今年度は70,000円を補助
成果物としての盛岡白百合学園の映画上映は6月28日(土)に盛岡劇場メインホールの予定
- ② **上位大会関連・協力事業関連**
 - ・ **Nコンスキルアップ講座** 3月27日(木)オンライン

ウ 研修事業

- ① **第47回校内放送指導者講座**(12/26-27, 東京3名, 県民会館からオンライン参加5名)
この講座への参加者は累計51名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっている。
- ② **生徒派遣事業**…補助事業なし。成田高校主催合同合宿に盛岡第二2名参加

エ その他

- ① **上位大会関連・協力事業関連**
 - ・ **高総体開会式** 5月17日(金) 盛岡第三
 - ・ **短歌甲子園** 8月16日(金)-18日(日) 盛岡第二3・盛岡第一3・盛岡白百合3が協力
 - ・ **岩手芸術祭総合フェスティバル** 10月5日(土) 盛岡第一・大矢知宙
 - ・ **いわて教育の日のつどい** 11月1日(金) 盛岡白百合・中本真央
 - ・ **高校生交通安全テレビCMコンテスト** 11月20日(水) キャラホール
- ② **県高文連表彰**…第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し, 受賞した。
 - 連盟賞(生徒表彰)**…2023(令和5)年9月1日～2024(令和6)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
 - ・ 盛岡第一高校 2024年度全国高総文祭オーディオメッセージ部門文部科学大臣賞
 - 功労賞(教職員表彰)**…2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日に退職した教職員で, 専門部長, 指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方。
 - ・ 該当無し

(3) 決算報告

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	前年度繰越	164,825	164,825	0	
B	登録料	130,000	110,000	-20,000	1校あたり 10,000・被災地免除
C	参加料				
C-01	NHK杯県大会参加料	140,000	105,000	-35,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除
C-02	新人大会参加料	0	90,000	90,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除該当無し
参加料小計		140,000	195,000	55,000	
D	補助金				
D-01	県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02	セミナーサポート費	430,000	414,487	-15,513	講習会430,000のうち15,513を高文連に返戻
D-03	強化費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04	専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯49,251・新人大会120,379
D-05	研修費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計		780,000	764,487	-15,513	
E	雑収入	175	221	46	利息
合計		1,215,000	1,234,533	19,533	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	運営費				
A-01	分担金	40,000	40,000	0	高文連全国放送専門部会費10,000 東北高文連放送部会費10,000 東北県参加料20,000
A-02	事務費	1,000	770	230	手数料・郵券
A-03	旅費	30,000	23,210	6,790	第3回理事会
運営費小計		71,000	63,980	7,020	
B	事業費				
B-01	NHK杯県大会	320,000	194,251	125,749	事業予算・決算別途
B-02	新人大会	430,000	382,000	48,000	事業予算・決算別途
B-03	講習会	446,000	414,487	31,513	事業予算・決算別途
B-04	研修事業	15,000	143,122	-128,122	顧問研修会会場費・参加補助
事業費小計		1,211,000	1,133,860	77,140	
C	予備費	43,000	0	43,000	
総計		1,325,000	1,197,840	127,160	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,234,533 - 1,197,840 = 36,693

監査の結果、適正と認めます。

令和7年4月18日

監査

高 橋 篤 志

監査

坂 本 千 尋

- ・2024(令和6)年度第3回理事会の中間報告後の出納は、第3回理事会旅費・手数料の支出、雑収入(利息)のみ。東北大会関係の精算(東北参加料の返金)は無し。
- ・登録料について、被災校の免除(1校 10,000 円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は 20,000 の減。
- ・収入決算額の前年度(東北大会開催年)決算額との増減は 266,449 円の減、支出決算額の前年度決算額との増減は 138,317 円の減。
- ・繰越 36,693 円は、収入決算額の 2.97%である。

イ 事業費会計 (2024(令和6)年度第2回理事会で承認済)

① NHK 杯県大会会計

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて 37,000 円の減。
- ・被災校の参加料免除(1校6エントリー, 6,000 円)をおこなった。
- ・被災校の上位大会参加料(1校6エントリー36,000 円)を補助した。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて 51,399 円の増。

② 新人大会会計

- ・被災校の参加料免除の該当は無かった。
- ・参加料の決算額は, 前年度決算額と比べて 22,000 円の減。
- ・支出決算額は, 東北大会開催の前年度決算額と比べて 221,296 円の減。
- ・予備費から盛岡支部事業補助 70,000 円を支出した。

③ 講習会会計

- ・事業ごとの支出額は次のとおり。(12/21 アナ朗講習会の支出には高文連返金手数料を含む)

		前年度決算額比
(1) アナウンス朗読講習会(7/6)	0 円	-5,184 円
(2) 放送講習会(9/22)	171,752 円	-6,570 円
(3) メディアコミュニケーションセミナー(10/12)	103,790 円	-1,478 円
(4) 番組講習会(11/23-24)	43,354 円	9,730 円
(5) アナウンス朗読講習会(12/21)	95,591 円	-2,550 円
合計	414,487 円	-6,052 円

- ・県高文連からのセミナーサポート費 430,000 円のうち 15,513 円を県高文連に返戻した。

協議 2 2025(令和 7)年度役員 (非改選期, 理事校 25 校(盛岡青松支援追加), 出席者は下線)

専門部長	岩手県立金ヶ崎高等学校長	<u>三森 健</u>	
副専門部長	岩手県立南昌みらい高等学校長	<u>菊池 勝彦</u>	
副専門部長	岩手県立盛岡工業高等学校長	<u>菅原 基</u>	
専門部代表理事	岩手県立南昌みらい高等学校	<u>岡田 伸一郎</u>	(上位大会担当※)
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	<u>森 公崇</u>		2030～31 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	<u>菊地 達哉</u>	(上位大会担当※※)	2042～43 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	<u>高橋 篤志</u>	(監事)	前事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	<u>金子 剛</u>		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	<u>久保井 秀樹</u>		2034～35 年度事務局校
岩手県立南昌みらい高等学校	<u>葛西 達彦</u>		事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	千田 修平		
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我 範晃		
岩手県立盛岡農業高等学校	<u>鈴木 勇二</u>	(盛岡支部理事)	
岩手県立盛岡工業高等学校	<u>坂本 千尋</u>	(監事)	次期事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	<u>高橋 武</u>		2028～29 年度事務局校
岩手県立盛岡青松支援学校	<u>盛合 淳子</u>		
盛岡市立高等学校	<u>佐久山 要</u>		2032～33 年度事務局校
岩手中・高等学校	<u>小笠原 健太</u>		2038～39 年度事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	<u>成田 奈穂</u>		2040～41 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	<u>畠山 隆行</u>	(花巻支部理事)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	<u>高橋 知己</u>	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	山平 清人	(奥州支部理事)	
岩手県立一関第一高等学校	<u>小澤 茂登子</u>		
岩手県立一関工業高等学校	<u>小幡 直子</u>	(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	<u>菊田 光哉</u>	(気仙支部理事)	
		(釜石支部理事空席)	
岩手県立宮古高等学校	遠藤 右	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古商工高等学校	<u>和山 真也</u>		
岩手県立久慈高等学校	佐藤 花保	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	関 亜砂子	(二戸支部理事)	

(※ NHK 杯運営委員, 東北高文連放送部会理事)

(※※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北アナ朗事務局)

参考：理事校顧問一覧（理事は下線）

岩手県立盛岡第一高等学校	<u>森 公崇</u> ・中川原 直央都・谷藤 さなえ
岩手県立盛岡第二高等学校	<u>菊地 達哉</u> ・西原 晴美
岩手県立盛岡第三高等学校	<u>高橋 篤志</u>
岩手県立盛岡第四高等学校	<u>金子 剛</u>
岩手県立盛岡北高等学校	<u>久保井 秀樹</u>
岩手県立南昌みらい高等学校	<u>岡田 伸一郎</u> ・ <u>葛西 達彦</u> ・及川 雄輝
岩手県立杜陵高等学校定時制	<u>千田 修平</u> ・澤田 英樹
岩手県立杜陵高等学校通信制	<u>曾我 範晃</u>
岩手県立盛岡農業高等学校	<u>鈴木 勇二</u>
岩手県立盛岡工業高等学校	<u>坂本 千尋</u> ・小野寺 真由美
岩手県立盛岡商業高等学校	<u>高橋 武</u>
岩手県立盛岡青松支援学校	<u>盛合 淳子</u>
盛岡市立高等学校	<u>佐久山 要</u> ・上田 徳良
岩手中・高等学校	<u>小笠原 健太</u> ・佐々木 道史
盛岡白百合学園中学高等学校	<u>成田 奈穂</u> ・菅原 浩
岩手県立花巻北高等学校	<u>畠山 隆行</u>
岩手県立黒沢尻北高等学校	<u>高橋 知己</u> ・佐々木 淳一
岩手県立岩谷堂高等学校	<u>山平 清人</u>
岩手県立一関第一高等学校	<u>小澤 茂登子</u>
岩手県立一関工業高等学校	<u>小幡 直子</u> ・阿部 歩美
岩手県立大船渡高等学校	<u>菊田 光哉</u>
岩手県立宮古高等学校	<u>遠藤 右</u>
岩手県立宮古商工高等学校	<u>和山 真也</u>
岩手県立久慈高等学校	<u>佐藤 花保</u>
岩手県立福岡高等学校	<u>関 亜砂子</u>

協議 3 2025(令和 7)年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画(2024(令和 6)年度第 2 回理事会までに承認済)

- ・規約第5条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成する。
- ・以下の日程原則により，次ページのとおり会場を確保している。
- ・9月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議する(NHK 杯県大会は協議 4，アナウンス朗読講習会は協議 5，放送講習会は協議 6)。10月以降のものは第 2 回理事会で協議する。
- ・昨年度までの要項等は，放送専門部のウェブサイトに掲載している。

日程原則

- ・第 1 回理事会(理事総会)…4 月第 3 週の金曜日 (県高文連理事会後)
- ・NHK 杯県大会(県民会館)
原則： 6 月第 2 週の月曜(準備・大会，13:30-)・火曜(大会)…高総体後・考査前
- ・アナウンス朗読講習会(県民会館)
原則： 東北アナ朗の前日(6 月下旬の土曜日)
- ・第 2 回理事会…9 月上旬の金曜日
- ・放送講習会(県民会館)
原則： 9 月 3 連休の初日(準備，17:30-)・中日(行事)…県外校招聘のため
- ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)
原則： 10 月体育の日の翌日(準備)・翌々日(行事)…高総文祭開会式後
- ・新人大会(県民会館)
原則： 11 月第 2 週，メディアコミュニケーションセミナーと曜日を一致(初日 13:30 準備・大会，翌日大会)…運動部の新人大会後・考査前
- ・11 月番組講習会(県民会館)
原則： 11 月勤労感謝の日の前後…修学旅行前
- ・12 月アナ朗講習会(県民会館)
原則： 12 月下旬の土日のいずれか
- ・第 3 回理事会…2 月第 3 週の金曜日(県高文連理事会後)
- ・3 月番組講習会(盛岡支部主催事業)
原則： 終業式後の休日

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	18	金	理事総会・第1回理事会	南昌みらい高校	放送専門部
6	2 3	月 火	第48回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	21	土	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
6	22	日	第25回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	県民会館	東北高文連 主管事業
7	21 24	月 木	第72回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール(決勝)・オリ ンピックセンター(準決勝ま で)	全放連・NHK
7	29	火	高文連全国放送専門部理事会	三木町文化交流プラザ (香川県三木町)	全国高文連
7	30 31	水 木	第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会)放送部門	三木町文化交流プラザ・三 木高校(香川県三木町)	全国高文連
9	5	金	第2回理事会	南昌みらい高校	放送専門部
9	中下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	秋田県	東北高文連
9	14	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	3	金	第47回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	陸前高田市民文化会館 (高田高校主管)	県高文連 (気仙支部主管)
10	15	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館	放送専門部
11	4 5	火 水	第48回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第43回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	22	土	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	20	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	金 土	校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	7 8	土 日	第29回東北高等学校放送コンテスト	大曲市民会館	東北高文連 秋田県主管
2	13	金	第3回理事会・会計監査	南昌みらい高校	放送専門部
3	下旬		番組講習会 (3/20(金・祝)-22(日)のいずれか)	(盛岡市)	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

・9月の放送講習会の県外からの招聘は相愛中学校・高等学校放送部の予定。

ア 大会事業

① 主催大会(放送コンテスト県大会、放送新人大会)

- ・いずれも第 48 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会，ならびに上位大会の県予選として開催する。県代表に推薦された場合，上位大会に必ず全日程出場することを確約して県大会にエントリーすること。
- ・大会は，2 日日程を原則とし，エントリー数によっては 1 日開催とする。参加申込み締切は，大会 3 週間前を原則とする。
- ・参加料は，1 エントリー当たり 1,000 円。東日本大震災の被災校・被災者に対する参加料の免除については当面継続する。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし，大会の案内文書に記載する。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合，上位大会の参加料は，放送専門部の会計から支出する。

② 上位大会

- ・ 第 25 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(主管事業・県民会館) 6/21-22
<https://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
夏の全国大会アナ朗代表相当を対象。
- ・ 第 72 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/10-12, 21-24
https://hosokyoiku.jp/ncon_h/ NHK 杯県大会の上位大会。
 - ・ 番組 4 部門の準々決勝審査のみ事前におこなう(7/10-12)。7/21-24 の全国大会には進出者・進出校すべて集まっての実施とする(前年度と同じ方式)。
 - ・ 全国大会運営部に盛岡第二・菊地達哉，運営委員に不来方・岡田伸一郎を県推薦。
 - ・ 準々決勝・準決勝審査員として，次の 6 区分 6 名を 6 月県大会後に県推薦。
 - ラジドキュ準々決勝 F(7/10-12 ウェブ)
 - テレドキュ準々決勝 C(7/10-12 ウェブ)
 - ラジドラ準々決勝 D(7/10-12 ウェブ)
 - アナウンス準々決勝 D(7/22・東京)

全部門予備

・第49回全国高等学校総合文化祭放送部門(香川県三木町) 7/30-31

<https://kagawa-soubunsai2025.pref.kagawa.lg.jp/> 前年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

アナウンス部門…盛岡第一(2)大矢知宙, 盛岡白百合学園(2)中本真央・(2)安孫子陽菜
朗読部門…盛岡白百合学園(2)西島唯, 盛岡第二(1)川井由葵, 盛岡第一(1)藤堂ひかる
オーディオメッセージ部門…盛岡白百合学園
ビデオメッセージ部門…盛岡第一, 盛岡第三

担当

- ・全体…盛岡第二・菊地達哉,
アナ・朗読…盛岡白百合・成田奈穂, 番組…盛岡第一・森公崇

準備日程

- ・4/25(金)正午 一式集約(郵送等)→盛岡第二・菊地達哉, 香川必着は5/7(水)前後?
- ・5/31(土)まで? 宿泊・弁当等(サポート室での受付の場合)

表彰…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出, 部門ごとに文科大臣賞・文化庁長官賞を出す。特別賞別途

- ・香川大会のグループ(ブロック) 時間は予想

アナウンス部門: ブロックD(岩手・山梨・新潟・京都・徳島・香川) 2日めの午前?

朗読部門: ブロックB(岩手・福島・長野・岐阜・香川・鹿児島) 1日めの午前?

AM 部門: ブロックE/F(岩手・福島・埼玉・東京・香川・愛媛 /

秋田・宮城・群馬・新潟・和歌山・高知) 1日めの午後?

VM 部門: ブロックE(岩手・福島・埼玉・東京・香川・愛媛) 2日めの午前?

・第29回東北高等学校放送コンテスト(大曲) 2026(令和8)年2/7(土)-8(日)

- ・今年度の新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「50」
- ・要項等未発表
- ・大会事務局は未発表
- ・東北理事会の日時・場所は未発表

・第50回全国高等学校総合文化祭放送部門(秋田)

- ・大仙市 大曲交流センター 2026(令和8)年7/29-30
- ・今年度の新人大会の上位大会。

イ 講習会事業

① 主催講習会…いずれの講習会も、セミナーサポート事業として開催する。参加料は無料。参加申込み締切は、開催 2 週間前を原則とする。

- ・アナウンス朗読講習会(県民会館) 6/21(土) →協議 5

全国大会のアナウンス部門・朗読部門代表対象

- ・放送講習会(県民会館) 9/14(日) →協議 6

- ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/15(水)

専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習

- ・番組講習会(県民会館) 11/22(土) 東北大会代表対象

- ・アナウンス朗読講習会(県民会館) 12/20(土) 東北大会アナ朗代表対象

- ・番組講習会(盛岡市内) 3 月下旬 盛岡支部主催

② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト、メーリングリスト等で周知。

- ・交通安全テレビ CM コンテスト講習会他

ウ 研修事業

予算の執行状況をみて、校内放送指導者講座(12/26-27, 東京)への派遣と参加補助, 他県の研修会・講習会等への生徒の派遣補助を検討する。他県の行事については、メーリングリストで周知する。

エ その他

- ① **協力事業(県内諸団体からの協力要請によるもの)**…県高総文祭総合開会式,いわて教育の日記念行事,県内諸団体の依頼(IAT 純情応援歌,交通安全テレビ CM コンテスト,短歌甲子園)等について協力する。このうち,交通安全テレビ CM コンテストと短歌甲子園の担当は,盛岡支部(盛岡農業高校・鈴木勇二)。

県高総文祭総合開会式(10 月第 1 週の金曜日が原則)の担当支部は次のとおり。

- ・ 2025(令和 7)年度気仙支部(高田高校主管) 10/3(金) 奇跡の一本松ホール
- ・ 2026(令和 8)年度盛岡支部(盛岡北高校主管) 10/9(金) 県民会館
- ・ 2027(令和 9)年度県南ブロック(50 回記念大会 水沢工業高校主管) Z ホール
- ・ 2028(令和 10)年度県央ブロック さくらホールまたは花巻市文化会館
- ・ 2029(令和 11)年度県北ブロック 県民会館

- ② **高文連表彰**…県高文連表彰規程に該当するものを推薦する。第 2 回理事会で報告。

- ・ **功労賞(教職員表彰)**…2024(令和 6)年 4 月 1 日～2025(令和 7)年 3 月 31 日に退職した教職員で,専門部長経験者,専門部の事務局長(代表理事)を 3 年以上担当した方,指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞させた方,指導者として全国大会に 10 回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦する。
 - ・ 菊地達哉先生(盛岡第二高校で退職 1993 年(岩泉高校田野畑校)以降,1995 年全国高等学校放送コンクールテレビ制作ドラマ・ドキュメント部門最優秀賞など全国最高賞 8 回,優良賞以上 16 回,専門部代表理事 2 回・計 3 年)
 - ・ 菊地芳子先生(沼宮内高校で退職 1995 年(宮古水産高校)全国高等学校総合文化祭放送部門 AP 部門奨励賞(最高賞)など全国入賞多数)
- ・ **連盟賞(生徒表彰)**…2024(令和 6)年 9 月 1 日～2025(令和 7)年 8 月 31 日に全国大会(総文祭・NHK 杯など)で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

(2) 予算

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	36,693	164,825	164,825	-128,132	
B 登録料	100,000	130,000	110,000	-30,000	1校あたり10,000・被災地免除
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	90,000	140,000	105,000	-50,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除
C-02 新人大会参加料	90,000	110,000	90,000	-20,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除
参加料小計	180,000	250,000	195,000	-70,000	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	430,000	414,487	0	講習会430,000
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯62,000・新人大会23,000・講習会85,000
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計	780,000	780,000	764,487	0	
E 雑収入	307	175	221	132	利息
合計	1,097,000	1,325,000	1,234,533	-228,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	40,000	40,000	40,000	0	高文連全国放送専門部会費10,000 東北高文連放送部会費10,000 東北県参加料20,000
A-02 事務費	1,000	1,000	770	0	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	25,000	30,000	23,210	-5,000	第3回理事会等
運営費小計	66,000	71,000	63,980	-5,000	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	210,000	320,000	194,251	-110,000	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	253,000	430,000	382,000	-177,000	事業予算・決算別途
B-03 講習会	515,000	446,000	414,487	69,000	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	20,000	15,000	143,122	5,000	全国研修会派遣補助等
事業費小計	998,000	1,211,000	1,133,860	-213,000	
C 予備費	33,000	43,000	0	-10,000	
総計	1,097,000	1,325,000	1,197,840	-228,000	

イ 事業費会計① NHK 杯県大会会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	90,000	140,000	105,000	-50,000	一般会計収C-01・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	62,000	80,000	49,251	-18,000	一般会計収D-04
4 強化費		50,000		-50,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	18,000	10,000		8,000	一般会計収B
合計	210,000	320,000	194,251	-110,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000		0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	45,000	41,590	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	65,000	41,590	0	
B 旅費					
B-01 県大会関係	40,000	40,000	39,655	0	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	35,000	140,000	33,320	-105,000	担当者会議
旅費小計	75,000	180,000	72,975	-105,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	45,000	50,000	42,036	-5,000	審査員・係
C-02 資料費	5,000	10,000		-5,000	事務用品
需用費小計	50,000	60,000	42,036	-10,000	
D 役務費	5,000	5,000	1,100	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	15,000	10,000	36,550	5,000	上位大会被災校参加料
総計	210,000	320,000	194,251	-110,000	

ウ 事業費会計② 新入大会会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	90,000	110,000	90,000	-20,000	一般会計収C-02・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 強化費	50,000	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
4 専門部補助	23,000	90,000	120,379	-67,000	一般会計収D-04
5 研修費	50,000	80,000	50,000	-30,000	一般会計収D-05
6 一般会計より		60,000	31,621	-60,000	一般会計収B
合計	253,000	430,000	382,000	-177,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	55,000	50,000	50,611	5,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	135,000	130,000	130,611	5,000	
B 旅費					
B-01 県大会関係	40,000	40,000	42,895	0	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	10,000	180,000	103,440	-170,000	(高文連全国放送専門部理事会)・東北理事会
旅費小計	50,000	220,000	146,335	-170,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	35,000	40,000	33,028	-5,000	審査員・係
C-02 資料費	5,000	5,000	0	0	事務用品
需用費小計	40,000	45,000	33,028	-5,000	
D 役務費	5,000	5,000	2,026	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	23,000	30,000	70,000	-7,000	上位大会被災校参加料
総計	253,000	430,000	382,000	-177,000	

エ 事業費会計③ 講習会会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	430,000	430,000	414,487	0	一般会計収D-02
2 強化費				0	一般会計収D-03
3 専門部補助	85,000			85,000	一般会計収D-04
4 研修費				0	一般会計収D-05
5 一般会計より		16,000		-16,000	一般会計収B
合計	515,000	446,000	414,487	69,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費	170,000	150,000	141,005	20,000	講師謝礼@20,000/日+源泉徴収
B 旅費					
B-01 講師旅費	190,000	170,000	149,320	20,000	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	90,000	60,000	78,400	30,000	高文連旅費規程による定額
旅費小計	280,000	230,000	227,720	50,000	
C 需用費					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	50,000	50,000	44,212	0	講師・役員
C-05 消耗品費				0	
需用費小計	50,000	50,000	44,212	0	
D 役務費					
D-01 郵便料金	2,000	1,000		1,000	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費	10,000	10,000	1,000	0	
D-04 振込手数料	3,000	5,000	550	-2,000	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	15,000	16,000	1,550	-1,000	
E 使用料・賃借料					
E-01 会場費				0	
E-02 機器使用料				0	
使用料・賃借料小計	0	0	0	-1,000	
F 予備費				0	
総計	515,000	446,000	414,487	69,000	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

昨年度決算額比

① アナウンス朗読講習会(6月)	65,000 円	65,000 円増
② 放送講習会(9月)	205,000 円	33,248 円増
③ メディアコミュニケーションセミナー(10月)	110,000 円	6,210 円増
④ 番組講習会(11月)	35,000 円	8,354 円減
⑤ アナウンス朗読講習会(12月)	100,000 円	4,409 円増
合計	515,000 円	100,513 円増

協議 4 NHK 杯県大会要項

(別紙 <https://www2.iwate-ed.jp/2025/nken2025.pdf>)

協議 5 アナウンス朗読講習会要項 (案)

1. 日時 2025(令和 7)年 6 月 21 日(土) 13:30～17:00
2. 会場 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)
3. 対象 全国大会のアナウンス部門・朗読部門に参加する生徒ならびに顧問。
4. 持参するもの アナウンスまたは朗読原稿 2 部
5. 講師 安田知博 氏, 各顧問
6. 参加料 無料
7. 申込み NHK 杯県大会の代表校打合せで関係校に文書を配付します。
8. その他 旅費等については, 当部会では負担いたしません。あらかじめご了承ください。

協議 6 放送講習会要項 (案)

細案については事務局に一任いただきたい。

1. 日時 2025(令和 7)年 9 月 14 日(日) 9:00～15:00
2. 会場 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)
3. 対象 県内の放送(視聴覚 等)部・委員会
4. 招聘校 相愛中学・高等学校放送部
5. 参加料 無料

協議 7 その他

(協議題なし)

連絡 1 2026(令和 8)年度以降の予定

(1) 2026(令和 8)年度の日程 (2024(令和 6)年度第 3 回理事会で連絡済)

協議 3(1)の日程原則により、次のとおり会場を仮予約済み。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中旬		理事総会・第1回理事会	盛岡工業高校	放送専門部
6	1 2	月 火	第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第73回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	20 21	土 日	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 第26回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	県民会館	放送専門部 東北高文連・主管事業
7	上中旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	21 24	月 木	第72回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール(決勝)・オリン ピックセンター(準決勝ま で)	全放連・NHK
7	28	火	高文連全国放送専門部理事会	大曲市民会館 (秋田県大仙市)	全国高文連
7	29 30	水 木	第50回全国高等学校総合文化祭(秋田大会)放送部門	大曲市民会館 (秋田県大仙市)	全国高文連
9	中旬		第2回理事会	盛岡工業高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	福島県	東北高文連
9	20	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	9	金	第48回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館 (盛岡北高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	14	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館	放送専門部
11	3 4	火 水	第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第44回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	21	土	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	19	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	上旬		第29回東北高等学校放送コンテスト	福島県	東北高文連 福島県主管
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡工業高校	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡市)	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

(2) 2025(令和7)年度以降の上位大会 (2024(令和6)年度第2回理事会で連絡済)

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・2025年72回大会 NHK ホール 7月24日(木)
- ・2026年以降未公表

イ 全国高等学校総合文化祭

- ・2025(令和7)年49回大会 香川県
- ・2026(令和8)年50回大会 秋田県
- ・2027(令和9)年51回大会 石川県
- ・2028(令和10)年52回大会 山口県
- ・2029(令和11)年53回大会 千葉県
- ・2030年54回大会 九州地区(大分・熊本・沖縄・福岡・宮崎・長崎・佐賀・鹿児島)
- ・2031年55回大会 近畿地区(兵庫・大阪・奈良・京都・滋賀・和歌山)
- ・2032年56回大会 北海道東北地区(岩手・北海道・山形・青森・福島・宮城)

ウ 東北高等学校放送コンテスト…秋田から時計回りを原則とする。

- ・2025年度29回大会 秋田県 全国総文リハーサル大会としてローテーション変更
- ・2026年度30回大会 福島県 ローテーション変更
- ・2027年度31回大会 山形県 ローテーション変更
- ・2028年度32回大会 青森県
- ・2029年度33回大会 岩手県
- ・2030年度34回大会 宮城県

連絡2 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

<https://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けている。放送専門部の連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによる。必ず毎日メールの確認を。

(3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトに掲載しデータをダウンロードする方式。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知する。

連絡 3 その他

(1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、県高文連旅費規程により、専門部が負担する。
- ・旅費の算出は、各自(各校)でおこなう。各校の事務室で出張の実態(発着地、通勤経路との関係、私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい、理事会出席の報告時に、交通費(運賃・車賃)・現地経費を知らせるものとする。

(2) 県高文連理事会(4/14 サンセール盛岡)報告

- ・全国総文祭(香川県)の県高文連の生徒旅費補助は 8,000 円×上限 3 泊+行動費 22,000 円。補助人数は、アナ朗はそれぞれ代表生徒 1 名、番組は 1 本につき 3 名。
- ・県高文連表彰規程(28 ページ)の見直しを提案している。15 ページのとおり、功労賞のうち優秀指導者の退職時表彰では記録と正確な推薦が困難であること、退職後(再任用)での全国優勝などを表彰する道がないことから、生徒が連盟賞を受賞する際に指導者も表彰する方式に改めることを提案している。

(3) その他

- ・放送専門部の teams の開設、運用について(盛岡農業・鈴木)
- ・このあと全国総文代表校顧問の打合せ

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

- 2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、奥州、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、講習会、研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名

- (3) 専門部代表理事(事務局長) 1名
- (4) 専門部理事 若干名
- (5) 支部理事 各支部1名(10名)
- (6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

- (1) 事務局長(専門部代表理事) 1名
- (2) 庶務担当 若干名
- (3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

- 2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事（事務局長）、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
 - ① 事業報告および決算
 - ② 事業計画および予算
 - ③ 役員の選出
 - ④ 規約の改定
 - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
 - ① 理事総会から委嘱された事項
 - ② 細則の改定
 - ③ 加盟団体から提案された事項
 - ④ その他必要な事項

第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

第5章 会計

第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

役員選出に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員の選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

- 事務局は、2年交代の輪番制とする。
- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
 - 3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。
- 9 この細則は、令和5年4月から施行する。

別表１ 役員案作成に関する事項

専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。

副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。

専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。

専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事 前事務局校と次期事務局校とする。

備考 専門部長について2025(令和7)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、金ケ崎高等学校長。

別表２ 事務局の輪番に関する事項

1 盛岡白百合学園	2018～2019 年度
2 盛岡第二	2020～2021 年度
3 盛岡第三	2022～2023 年度
4 不来方・南昌みらい	2024～2025 年度
5 盛岡工業	2026～2027 年度
6 盛岡商業	2028～2029 年度
7 盛岡第一	2030～2031 年度
8 盛岡市立	2032～2033 年度
9 盛岡北	2034～2035 年度
10 盛岡第四	2036～2037 年度
11 岩手	2038～2039 年度

(11 番の次は 1 番に戻る)

備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

②輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。

3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支

給する。

- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、2,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当りの定額により支給するものとし、その額は、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、10,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月21日から施行する。

3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

4 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(補足)

※1 1 日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

岩手県高等学校文化連盟表彰規程(参考資料)

第 1 条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

第 2 条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

1 生徒について

- (1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。
- (2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。

2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。

3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

第 3 条(推薦の条件)

1 生徒について

- (1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。
- (2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。
- (3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
- (4) 推薦対象の期間は、前年度 9 月 1 日より翌年の 8 月 31 日までの一年間を原則とする。

2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高

等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

(1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟会長

(2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟参与、理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3 位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに 10 回以上出品・出演させたものを対象とする。

オ 専門部代表理事を 3 年以上経験したもの。

第 4 条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

- 1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。
- 2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。
- 3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

第 5 条(表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。
- 2 表彰状及び記念品を贈る。

第 6 条(専門部の表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。
- 2 表彰の名称等は次の型とする。
 - (1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選
 - (2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選
 - (3) 1 位 2 位 3 位

付則

- 1 この規程は、昭和 62 年 9 月 9 日から施行する。
- 2 この規程は、平成 12 年 4 月 18 日から施行する。
- 3 この規程は、平成 24 年 4 月 13 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。